

2009年7月31日

## 長谷工独自の「ALC乾式壁無溶接工法」を開発 長期優良住宅に適応した高い更新性と可変性を実現

(株)長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：岩尾 崇）は、マンションの開放廊下やバルコニーに面する外壁にALC（※1）パネルを採用する際に、溶接を一切必要としないオリジナルの「ALC乾式壁無溶接工法」を旭化成建材、旭化成ホームズ、新日軽と共同開発しました。

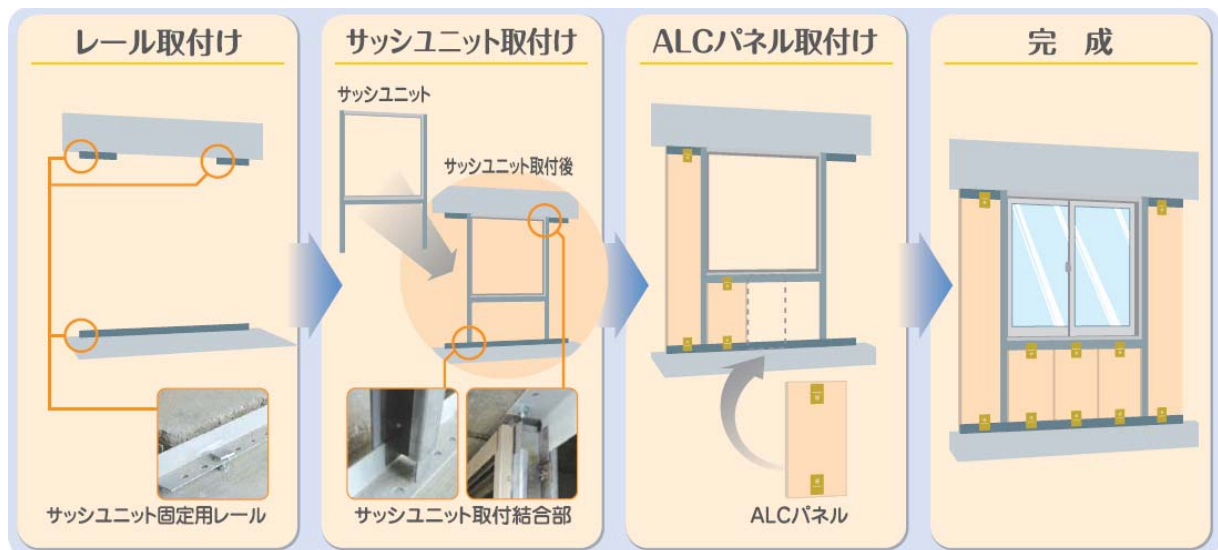
「ALC乾式壁無溶接工法」は、従来アルミサッシをALC乾式壁に固定するための溶接作業や、アルミサッシとALC乾式壁との空隙を埋めるためのモルタル充填を不要にし、仕上げ工事の施工性と安全性の向上を実現できます。また、玄関ドア・アルミサッシの開口位置の可変性や更新性を高めて、住宅の長期耐用に寄与できる新しい工法です。〈特許出願中〉

今後、当社で設計・施工する分譲マンションに長期優良住宅の適応技術の1つとして採用提案を行ってまいります。

（※1）ALC・・・Autoclaved Lightweight aerated Concrete

（高温高圧蒸気養生された軽量気泡コンクリート）

### 【「ALC乾式壁無溶接工法」の施工手順】



### 【「ALC乾式壁無溶接工法」の効果】

#### <施工中>

- アルミサッシの取付けやモルタル充填など仕上げ工事の省力化
- 組み立て式なので専門工以外でも施工が可能
- 溶接作業が不要で安全性が向上

#### <施工後>

- 間取り変更などで開口位置の変更が可能
- 修繕・更新が容易になり、メンテナンス性が向上
- 無溶接工法のため分別解体、撤去が行いやすく、廃棄物の発生量を抑制

### 【「ALC乾式壁無溶接工法」の施工風景（写真）】

- ① アルミサッシ（AW）枠・玄関ドア（SD）枠を一体化したサッシユニットを工場で製作し、現場に搬入
- ② 開口部の上下にサッシユニット固定用レールを設置
- ③ サッシユニット固定用レールにサッシユニットをボルトで固定
- ④ ALCパネルを取付け
- ⑤ ALCパネル間の目地とアルミサッシ周りの目地に、シーリング材を充填
- ⑥ アルミサッシをはめ込み、玄関ドアを設置し完成



②サッシユニット固定用  
レール取付（写真は下部）



③サッシユニット取付



④ALCパネル取付



⑥完成（開放廊下側 外観）



⑥完成（開放廊下側 内観）

### 【共同開発会社】（五十音順）

旭化成建材株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小林 宏史）

旭化成ホームズ株式会社（本社：東京都新宿区、社長：波多野 信吾）

新日軽株式会社（本社：東京都江東区、社長：中嶋 豪）